

後援会会報

VOL.3

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB

一緒に立正大学ラグビー部を応援しませんか?
ご興味のある方は立正大学総務課までご連絡下さい!

【立正大学総務課】

☎048-536-6010
〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉1700

立正大学ラグビー部に期待する



立正大学ラグビー部
後援会運営委員長

(株)のほりや代表取締役
滝沢 寧和

不思議なもので、ラグビーとはまったく無縁の私が、仰せつかったとはいいながら立正大学ラグビー部後援会の役員を務めております。

この後援会の会員は特に地域は問いませんが、おおむね熊谷市、またその周辺の人たちによる有志の集まりで、現在の会員数は法人会員180社、個人会員500名を擁しており、発会をした昨年度は皆様の会費の中から200万円という金額をラグビー部に補助することができました。

こういう市民主導型の大学運動部援会の存在というのは全国的にもあまり例がないということでありますが、私としては立正大学ラグビー部後援会の発足は、熊谷市という地域の中でおおいに必然性があつたとだと思っております。

理由は3つあります。その一つは熊谷市における立正大学の意義です。

立正大学が熊谷の地に根をおろしてから40年。その間多くの学生たちが全国からこの地に集まり、ここで生活をし、勉学に励みスポーツに汗を流し、熊谷を、青春の思い出の町として万余の人たちが日本中にいるという事実。そして現実に40年の歴史の中で大学と行政、また大学と市民との連携、結びつきの強さの証ともいうものが今回のラグビー部後援会の結成に繋がったのだと思います。

2つ目は、熊谷市出身の全国的にも著名な早大・神戸製鋼で活躍した元日本代表スクラムハーフの堀越正己氏が7年前より立正大学ラグビー部の監督を務めているということ。氏の現役時代の日本ラグビー界における活躍は、あらためてここに述べる必要はないと思いますが、堀越監督の指導により立正大ラグビー部が所属している関東大学リーグ戦において、立正大学は昨年度から1部昇格を果たし、今シーズンでは大学選手権への出場も視野に入ってきている実力を蓄えてきています。熊谷の堀越率いる、熊谷の立正大学がラグビーで活躍するということは即ち、熊谷市民の誇りとなるでしょう。

3つ目は、熊谷市には県立熊谷ラグビー場という大変立派なラグビー場があり、官民を挙げて名実共にラグビータウンを標榜していることです。市内には小学生を指導するラグビースクールもあり、吉岡中学校ラグビー部、熊谷工業高校ラグビー部は全国レベルでの活躍もしているという、極めてラグビーに対する熱意と力のある、そして層の厚さのある町なのです。

「ラグビーで町おこし」ができる背景と土壌は十分整っているなかで、立正大学ラグビー部を市民こそぞって応援することは誠に意義深いものがあるのではないのでしょうか。

そして、ラグビー部の選手諸君には町を挙げての応援を背中を感じ、ひとつひとつの試合で素晴らしい結果を出してもらいたいと思います。期待をしております。

追伸 後援会会員の増強は役員だけの力では限界があります。会員の皆様にも是非お知り合いの方へ入会のお誘いを頂ければ幸いです。

2006 立正大学ラグビー部 抱負



ラグビー部主将

佐藤 元太
(熊谷工業高校出身)

今年度の目標である「大学選手権1回戦突破」に向けて、日々の激しく、厳しい練習に取り組んでいます。夏合宿も約1ヶ月間という長丁場でしたが、学校、宿舎ほか、多くの方々によるご協力のもと、宿舎の隣にウエイトレニングを設置していただいたことにより、チーム力の強化に大きな助けとなりました。課題を克服しながら、合宿後半にはチームが一つになりつつあることを実感し、1部という大きな舞台で戦える手応え

「目標」を現実に



ラグビー部監督

堀越 正己

昨シーズンの1部リーグでの経験が、非常に良い形で選手達に浸透しています。まだ課題は多くありますが、普段の生活から練習態度に至るまで、学生達の自主性、責任感が日毎に増してゆくのを目の当たりし、私の心の中で「不安」よりも「期待」の方が、確実に大きくなってゆくのを感じています。技術や戦略は、勝負に勝つための大きな要素ではありますが、それ以上に選手個々の心のあり方が大

切だと思っています。そういった面でも、シーズンを目前にした今、あらためて、精神的な部分からとやかく言う必要がないことは、チームとして非常に良い状況にあると言っているのではないかと思います。リーグ戦1部という厳しい戦いは、思わず逃げ出したくなるような苦しい場面の連続です。しかし、そこでいかに自分達の目指すプレーをやりきることが出来るかが、目標達成を導く最大のポイントだと思います。立正大ラグビー部の誇りを胸に、目標である「大学選手権1回戦突破」を現実のものにしたいと思えます。今シーズンも多大なるご声援を賜りますようお願い申し上げます。

と、自信がついてきたように思います。

今季のスローガンである「We will do it(やるのは俺達だ)」という前向きで強い気持ちと、立正大学ラグビー部の普遍的な精神「チャレンジャースピリッツ」を心に刻み、どんな状況、どんな相手に対しても全力でやり尽くす気持ちを持ち続け、目標を達成できるように、ラグビー部が一つになって戦いつてまいりますので、今年度も温かいご支援、ご声援を宜しくお願い申し上げます。



手ごたえあり!

充実の夏合宿レポート

関東大学リーグ戦1部昇格から1年。新たな挑戦に挑む立正大ラグビー部が夏合宿を終え、大いなる成果を上げて熊谷へ戻ってきました。課題の克服と、さらなる成長を遂げた約1ヶ月に及ぶ夏合宿をレポートします!

■課題の克服

春先から課題として取り組んできた、「ディフェンスの強化」と「セットプレーの安定」を今夏合宿でも引き続き強化ポイントとして取り組みました。BK陣よりひと足早く合宿入りしたFWは、スクラム、ラインアウトなどセットプレーの強化をはじめ、ウエイトトレーニングルームで、基礎体力の向上に専念しました。BKと合流後はチームとして、ディフェンス、オフショアの練習を行い、決まり事、選手個々の責任の徹底を確認しながら、一つひとつ課題点を見出しては、修正、向上に励みました。練習試合でも、その練習効果は表れ、確実に成長を感じることが出来ました。

■目標をひとつに

「大学選手権1回戦突破」を合言葉に厳しい練習を積み重ねてきました。今夏合宿においてもその軸はぶれることなく、練習、試合中でも、選手が口々にその言葉を掛け合い、意志の統一を行う場面が多々見ることが出来ました。技術的な進歩も然ること

ながら、気持ちの面でチームがより固い絆で結ばれつつあることを実感した合宿でもありました。

■責任感

夏合宿中、ラグビー部のホームページのブログには、毎日選手達のコメントがアップされました。厳しい練習の最中で、こうした地道な作業を継続してゆくことは、思ったよりも大変なことでしたが、チームで決めた約束事をキチンと守り続ける力こそが、チームとして何よりも大事なことです。また、仲間が今何を考え、どんな気持ちで練習に励んでいるかを知るためにも大きな役割を果たしました。

■シーズンに向けて

総体的に見て、今年の夏合宿は非常に良い合宿でした。練習試合の結果以上に、緊張感のある状態を維持できたことが何よりも大きな成果でした。これは、選手達が本気で「大学選手権1回戦突破」という目標を意識しているからにはかなりません。来るシーズンに向けて、熊谷での練習はより充実したものにしてゆかなければなりません。が、おそらく本番に向けたチームとしての意識は、より高まりをみせてくれるに違いありません。



【夏合宿練習試合結果】

■8月16日(水)
立正大C7-27レッドエポリューションズ
立正大D53-0独協大A
■8月18日(金)
立正大C29-26警視庁
■8月19日(土)
立正大A26-14筑波大A
立正大B34-21筑波大B
■8月20日(日)
立正大C46-7東北福祉大A
立正大D53-21東北福祉大B
■8月22日(火)
立正大B24-17ヒョンヒダA(韓国)
立正大D46-5九州共立大B
■8月23日(水)
立正大A53-0近大A
■8月24日(木)
立正大B26-48摂南大A
立正大C20-19摂南大B
立正大D43-26摂南大C
■8月26日(土)
立正大C28-29朝日大A
立正大D41-17朝日大B
■8月27日(日)
立正大A13-43早大B
立正大B7-59早大C
立正大C22-32早大D
■8月29日(火)
立正大C79-7国際武道大B
立正大D53-7国際武道大C
■8月30日(水)
立正大A33-31京産大A
立正大B19-31京産大B



サンケイスポーツ提供

関東大学リーグ戦

いよいよ開幕!

2006~2007 シーズン見所

今季の立正大は、リーグ戦全体を見渡しても、上位に食い込む力を持っていると言えるだろう。開幕から第5戦までが熊谷ラグビー場での開催。立正大にとっては、ホームゲーム感覚で戦えるのは大きなアドバンテージだ。注目の開幕戦、第2戦は強敵・関東学大、法政大を迎え撃つ。関東、法政を相手にどのような戦いが出来るかで、その後のムードもガラリと変わってくるだけに、大変重要な1、2戦といえる。この2強のどちらかに土をつけることが出来れば、リーグ戦はグッと面白さを増す。続く東海大は今季最も

も勢いがあると目される強敵だけに、こちらの戦いも目が離せない。山場となるのは、10月24日大東大から、流経、日大、中大の4試合だ。この4試合で取りこぼすことなく、前半戦で強豪の一角を倒せば、大学選手権出場への扉は開く。強敵を相手にいかに失点を抑えることが出来るか。また、接戦の戦いで根負けせずに最後まで戦い抜くことが出来るか。いずれにしても、今季の立正大ラグビー部は、関東大学リーグ戦のダークホースとして、注目されていることは間違いない。

熊谷開催時は是非ご来場下さい!

2006-2007 ラグビー部メンバー

■スタッフ 【部長】 鷲尾祐喜義/早稲田大 【監督】 堀越正己/早稲田大 【コーチ】 原一郎/順天堂大 菅原久平/立正大 間藤由貴/熊谷工業 新井昭夫/日本体育大 菊地克将/立正大 【トレーナー】 吉本隆志/立正大 【ストレッチコーチ】 錦織法晴/筑波大学院 【マネージャー】 重松裕美子/立正大 【フロップ】 松田彦彦/4年/埼玉工大深谷 石川智康/4年/仙台育英学園 渡邊創七郎/4年/深谷 古屋久斗/3年/秋田工業 月野鉄平/3年/湘南工科大附 加藤雅己/2年/伊奈学園総合 桑原大祐/2年/行田工業 松田光/2年/保善 島村聡一/2年/秀明英光 小池健太/1年/熊谷工業 小内拓也/1年/深谷 佐藤桂/1年/東福岡 【フッカー】 小林研太/4年/桂 佐藤隆道/3年/秋田工業 蛭川佳宣/2年/熊谷工業 伏島大二郎/2年/深谷 横川謙次/1年/下伊那農業 古館優/1年/大東文化一 【ロック】 太田悠介/4年/新潟工業 渡邊康祐/3年/磐城農業	■選手 木村智史/3年/新発田 柴崎涼平/2年/修徳 ミロ・デビッド・キングスランド/2年/セントポールズ・カレッジ 後藤亨/2年/秋田中央 白倉聖/2年/巻 大山地/1年/能代工業 間藤大地/1年/熊谷工業 荻原祐一明/1年/日川 【フランカー】 佐藤元太/4年/熊谷工業 山本恒太/4年/出水 片倉浩介/4年/秋田中央 竹谷直樹/3年/伏見工業 イシレリ・ティウアナ・タカブ/3年/アビフォウ・カレッジ 飯塚健男/3年/仙台工業 加藤達郎/2年/秋田中央 渡邊直茂/2年/小野 川田一彰/1年/熊谷工業 佐藤慶太/1年/秋田工業 小林信/1年/桂 田畑大昌/1年/八戸西 百武和冬/1年/東京農業第二 【ナンバーエイト】 菅原亮/4年/佐沼 菊地剛仁/3年/金足農業 乙川寛徳/2年/新潟工業 【スクラムハーフ】 水野雄一/4年/埼玉工大深谷 安部和輝/3年/大分舞鶴 笠間輝剛/3年/保善 市村翔馬/2年/川口北 荒井祐太/2年/深谷 日高平/1年/日本文理大附 【スタンドオフ】 本澤幸徳/4年/熊谷工業 小玉達郎/3年/金足農業	■選手 山上達也/2年/樹徳 佐藤浩一/2年/秋田工業 古屋亮介/1年/日本文理大附 外山靖洋/1年/明和県央 【センター】 小林孝至/4年/深谷商業 畠山達徳/4年/仙台育英学園 角山祐樹/3年/徳島市立 松坂直輝/3年/仙台育英学園 岩村貴義/2年/保善 柴崎裕明/2年/熊谷工業 田中剛介/2年/長崎南山 芽原良平/1年/新潟工業 奥山宏輝/1年/金足農業 【ウイング】 小松大祐/4年/佐沼 松原臣吾/4年/御所工業 國近歩/4年/長崎南山 窪田洋平/3年/湘南工科大附 平雷太/3年/本郷 中山裕介/3年/能代工業 福川明/2年/神奈川工業 長屋健/2年/湘南工科大附 シリバ・アヒオ/1年/ウェスレイ・カレッジ 【フルバック】 小淵和夫/4年/明和県央 藤井裕介/3年/日川 太田隆介/3年/延岡 野川祐輔/2年/桶川西 吉武頌一朗/2年/東福岡 湯本俊介/1年/荒尾 平山達志/1年/國學院栃木
--	--	--

2006-2007 関東大学リーグ戦試合日程

開催日	キックオフ	対戦相手	試合会場
9月23日(土)	14:00	関東学院大	熊谷
10月8日(日)	14:00	法政大	熊谷
10月15日(日)	12:00	東海大	熊谷
10月24日(日)	14:00	大東文化大	熊谷
11月5日(日)	14:00	流通経済大	熊谷
11月11日(土)	12:00	日本大	秩父宮
11月26日(日)	12:00	中央大	八王子上柚木